



輝け！北っ子！

2学期実施予定の行事等の開催について ～ 運動会 補足説明 ～

9日付けで配付した「令和2年度 二本松北小学校行事等の今後の見通しについて（再通知）」の中で、運動会については下記の通り通知したところです。

運動会 … 中止

「運動会をどうするか」という検討にあたっては、まず、運動会の意義をあらためて職員間で話し合いました。すると

○日頃の体育学習の成果の発表

○体育を通じた自分への自信 他者との協調

という一般的な意義の他に、上級生が下級生の面倒をみることでお互いに「優しさ」を学んだり、上級生の走りや態度、鼓笛演奏をみて「あこがれ」を抱く 等

○子ども達の縦割り活動での成長 にも大きな意義があると考えました。

一方、従来の運動会の場合の課題としては「準備に時間をかけすぎになっていること」「密の状態が生まれやすいこと」等があげられました。

そこではじめは、低学年、中学年、高学年と学年をブロックに分けて、徒競走（50m走等）チャンスレース（カードを拾って 等）団体種目（玉入れ等）など参加人数や種目を絞って開催することを考えましたが、どうしてもしっくりきませんでした。それは、子ども達が他の学年とのかかわりが少なく、「縦割り活動での学び」が保障できないことからくるものでした。さらには、「学級での体育の授業参観でもいいのでは」「運動会として行う必要があるのか」という意見も出たのでした。

そこで、「従来通りの運動会はやらない（中止）」とし、運動会の意義を引き継ぐ新たな活動として

※ 運動会の意義を引き継ぐ 代替え企画

「（仮称）縦割リスポーツフェスティバル」

を行うこととしました。1年～6年生の縦割りで活動を中心に据え、児童会（子ども達）で意見を出し合いながら、できるだけ楽しく簡単にできる種目等を考え、一定の練習期間を設け、縦割りで活動、関係性を醸成していくこととしながら、本番当日を迎えるような企画を目指すことにしたのです。活動場所も校庭だけでなく、体育館や教室等をローテーションしながら、密を避けようとも考えています。

従来の運動会のようにはいきませんが、運動会の意義は継承していますし、コロナ禍の中の今だからこそ生まれた企画だとも考えます。子ども達がどんな風に考え、どんな風に活動していくか今から楽しみにしています。また、運動会の持ち方については、各校様々で、何を重視するかも変わってきます。北小の考えがベストだとも思っていないですが、北小の子ども達にとっては意味のある大事な活動になると思っています。

保護者の皆様にも、是非見ていただきたい企画ではありますが、児童の命優先、新型コロナウイルス感染症対策優先と言うことで、公開はいたしません。ご理解ください。

なお、子ども達の活動の様子（写真等）については前向きに検討していきます。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）～

..... 切 り 取 り 線

